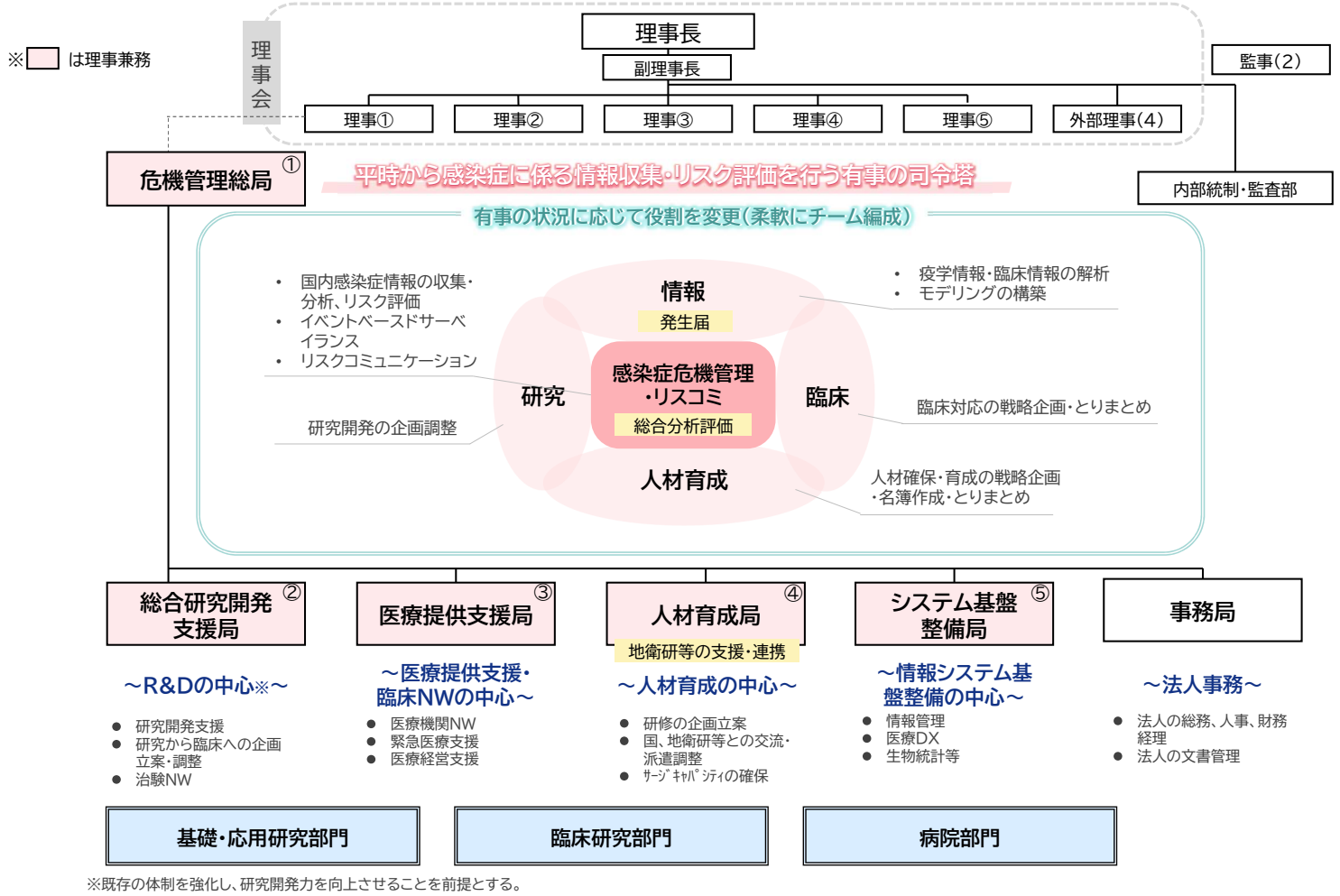


① 平時（準備期）

統括庁・厚生労働省と共に体制整備を行い、有事に備え、感染症に係る情報収集・リスク評価を実施



新機構における業務と対応フロー(イメージ)

危機管理総局

平時(準備期)

統括庁・厚生労働省

連携

有事に備えた体制整備・訓練の実施

危機管理総局

人材育成局

- 政府行動計画を踏まえ、新機構の行動計画等の策定
- 政府、地衛研、医療機関等と連携した定期訓練の実施
- 新機構内外の有事のサージキャパシティの確保(名簿づくり等)※医療提供支援局の医療機関NWも活用

《通常業務を通じた有事に対応しうる体制整備》

総合研究開発支援局

医療提供支援局

人材育成局

システム基盤整備局

- 研究開発支援
- 国内外の研究開発ネットワーク/臨床試験ネットワーク
- 医療提供支援
- 医療機関ネットワーク
- 人材育成(研修の企画立案)
- 地衛研等との交流・派遣調整
- 情報システム基盤整備
- 医療DX等の推進

モニタリング

危機管理総局

情報収集・リスク評価

定期報告

統括庁
厚生労働省

- 国外の流行状況・流行状況リスク評価
- 国内外の治療薬等の開発マップ
- 新興感染症のリスク評価(病原体、感染経路、感染力、重症化度等)
- イベントベースドサーベイランス

情報収集・リスク評価を継続

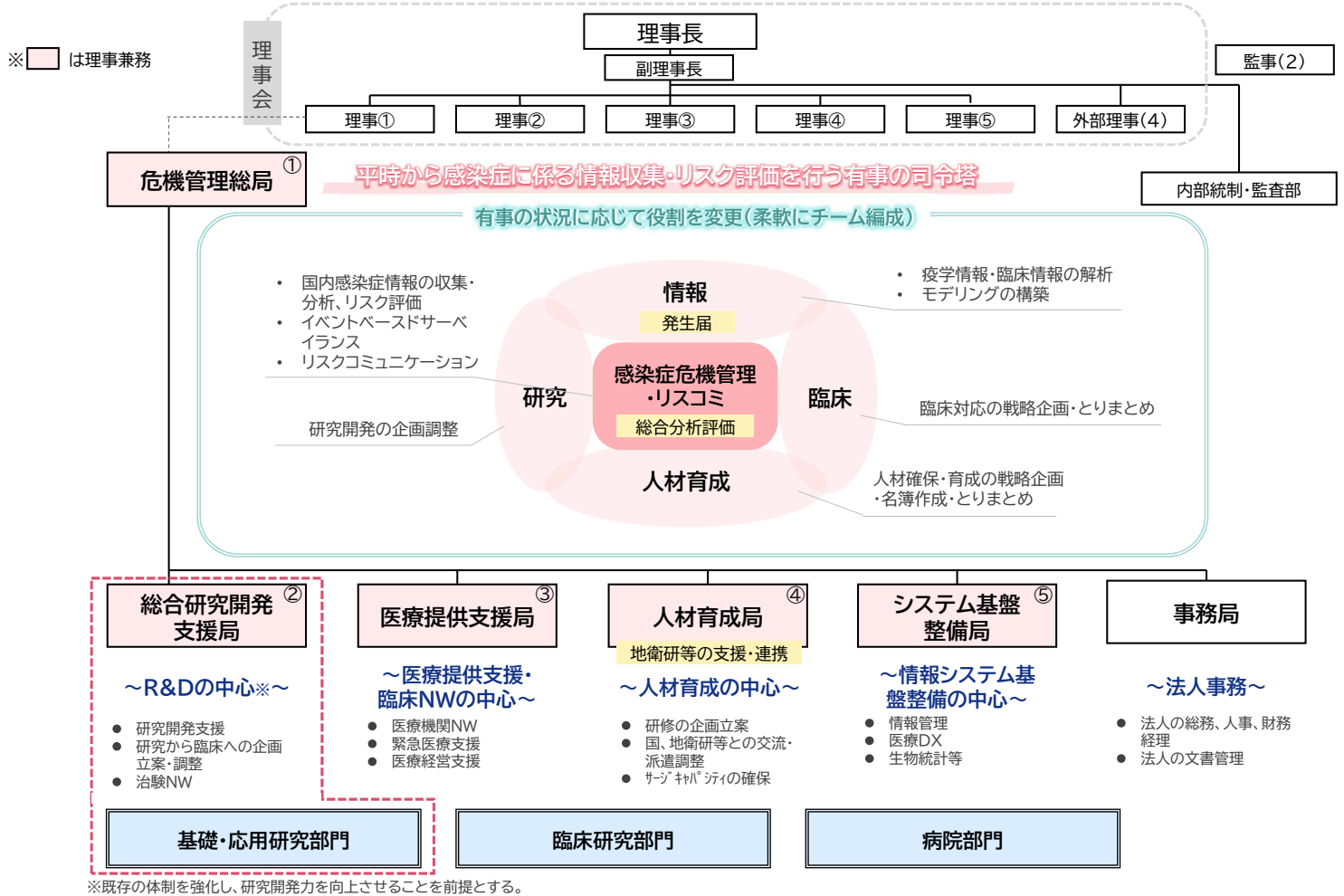
有事に備えた体制づくり

情報収集・リスク評価

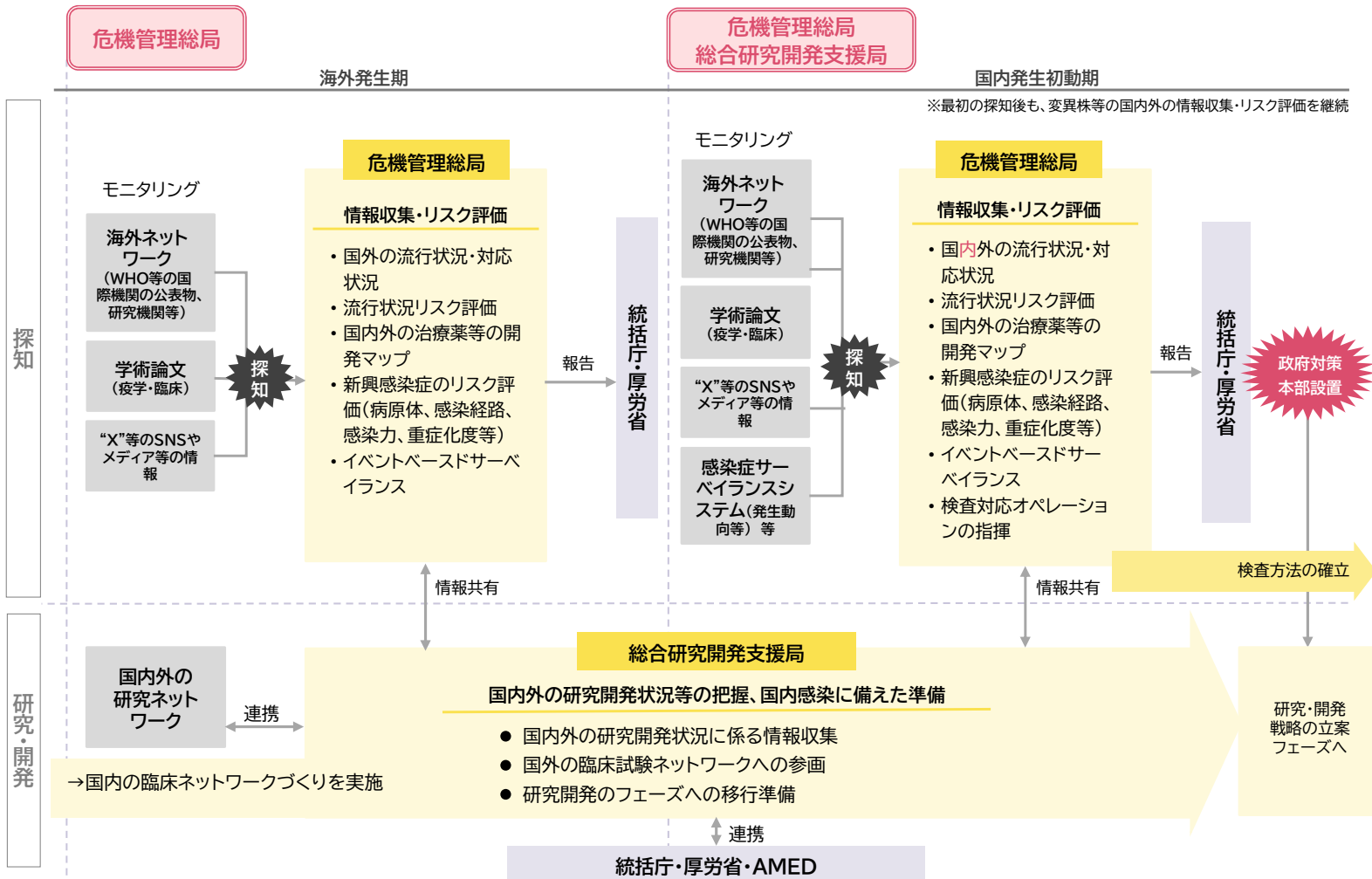
- 海外ネットワーク
- 学術論文(疫学・臨床)
- “X”等のSNSやメディア等の情報

① 海外発生期・国内発生早期：探知

国内外の感染症の情報収集、リスク評価を行い、
統括庁と共に政府対策本部の設置要否を検討

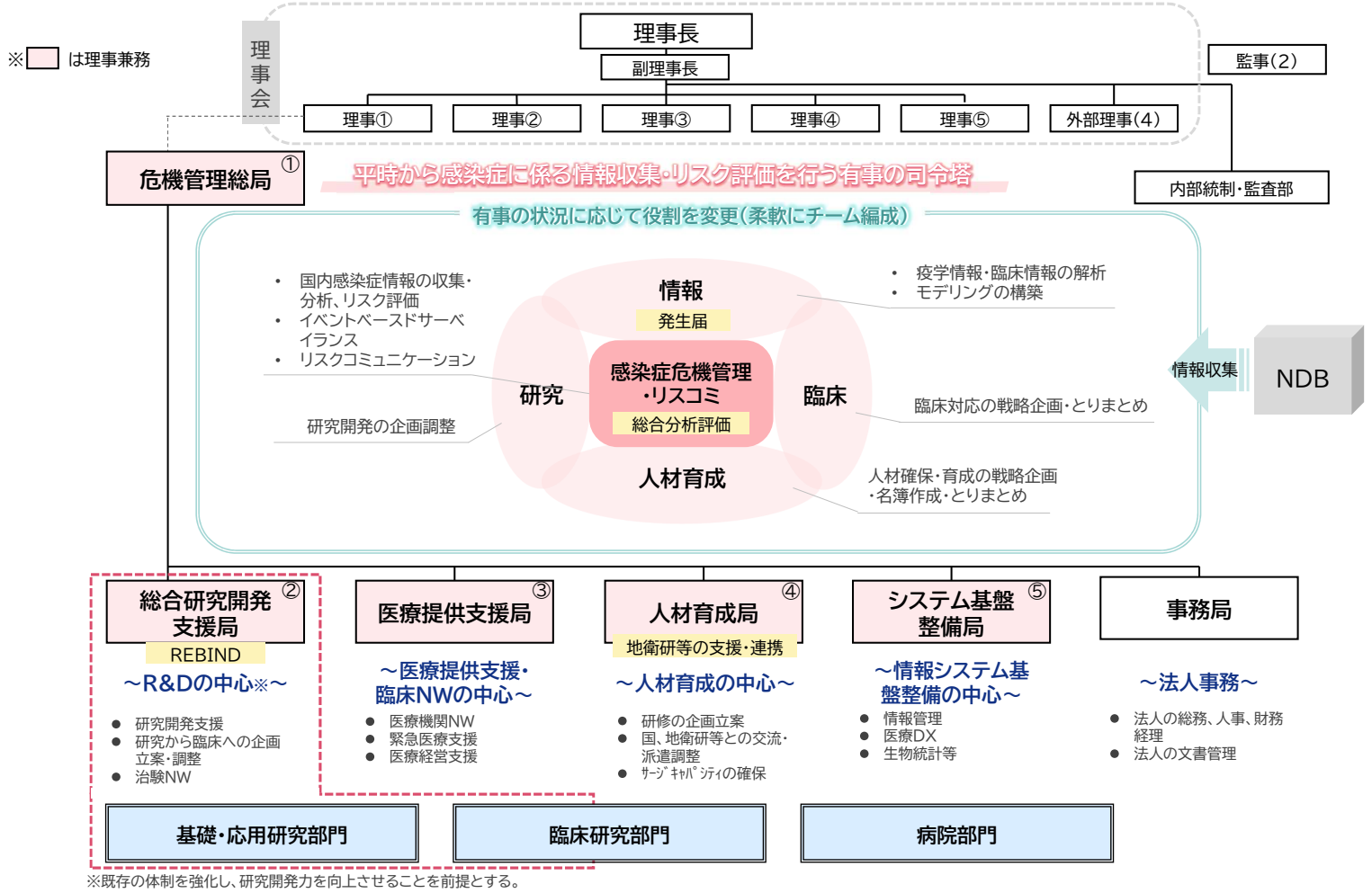


新機構における業務と対応フロー(イメージ)

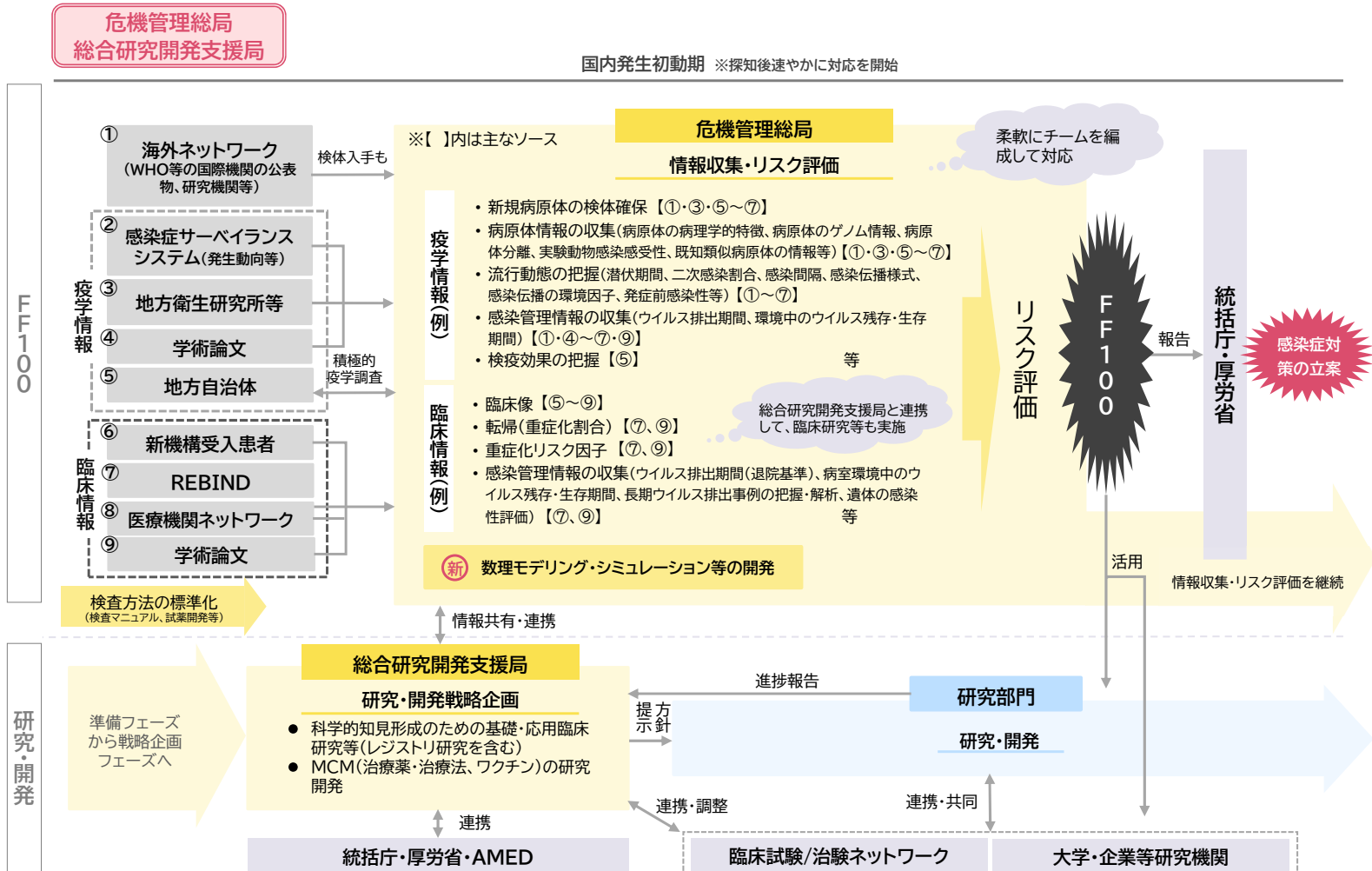


② 国内発生早期：FF100

疫学及び臨床に係るエビデンスを収集、科学的知見を提供し、厚労省と共に感染症対策の立案や治療薬等の研究・開発を推進

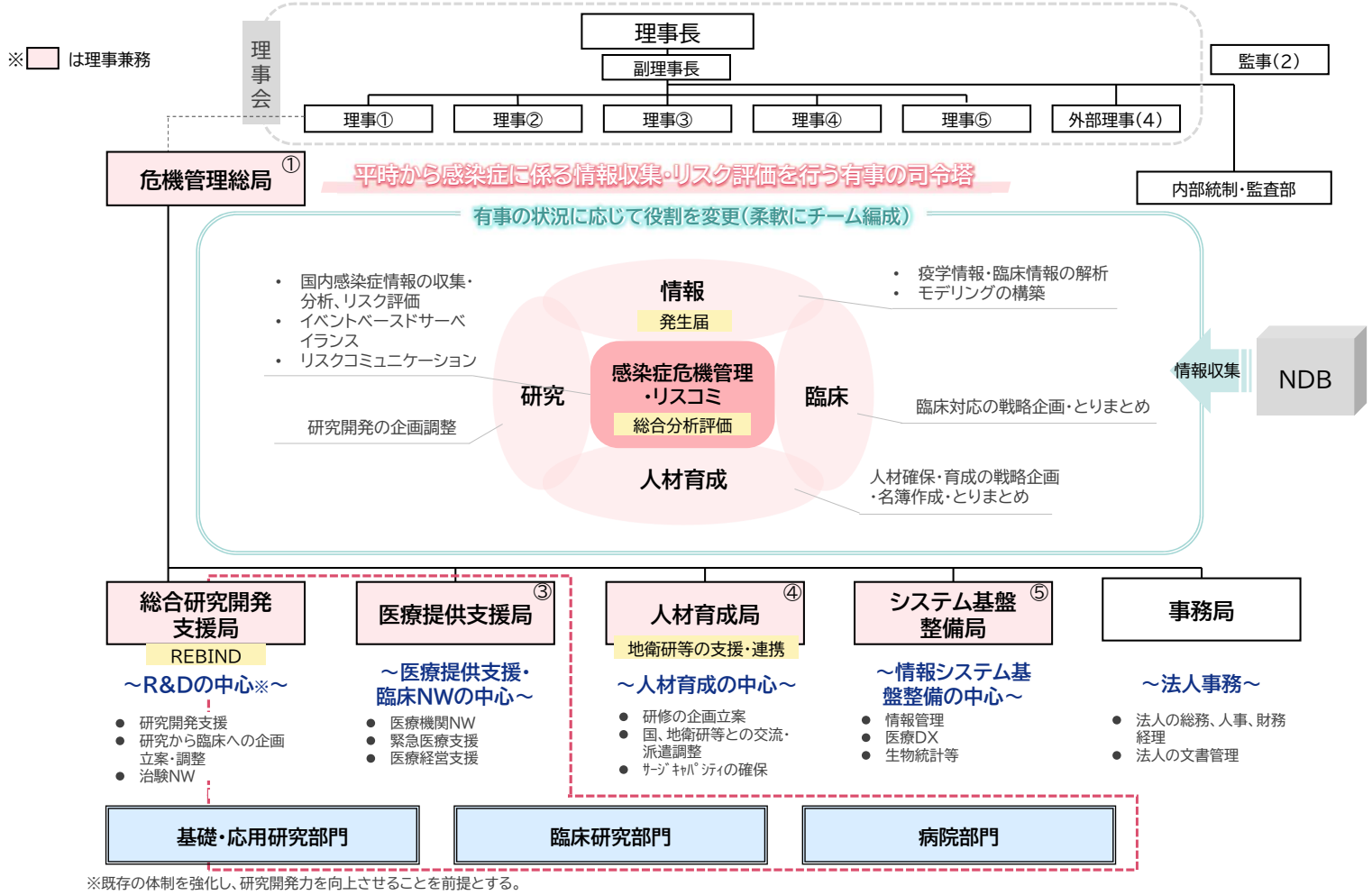


新機構における業務と対応フロー(イメージ)



③国内発生早期～感染期：医療提供

臨床に係る科学的知見を提供し、地域の医療機関と共に効率的・効果的・重点的な医療を提供



新機構における業務と対応フロー(イメージ)

危機管理総局・医療提供支援局・総合研究開発支援局

国内発生早期

国内感染期

